

# 令和5年度学校だより

## 草庵先生に学ぶ宿南小学校

# しゅくなみ



No.23

令和6年3月19日

### 《 卒業・修了 おめでとうございます 》

今年の冬は、暖かい日が続いたかと思うと寒の戻りがあって、雨降りの日が続きました。しかし、三寒四温の言葉通り、スイセンが咲き、チューリップの葉が伸び上がり、確実に春の訪れが感じられます。

3月21日に、卒業証書授与式を挙行政いたします。

22日は修了式です。ご卒業・修了、おめでとうございます。

今年も、来賓はお招きいたしません。保護者と在校生が見守る中での卒業式を行うことができ大変嬉しく思います。3名の卒業生が夢と希望を抱き、未来に向かって力強く羽ばたいていけるよう、地域の皆様にも子どもたちの揚々たる前途を祝い、これからの活躍を願っていただければと思います。

コロナ禍の経験を取り入れ、小規模校ならではのよさを生かして毎日の学習や行事、PTA活動、地域と連携した活動などを実施することができました。保護者・地域の皆様のご理解と力強いご支援に対し、心より感謝申し上げます。来年度も引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



### 《 「6年生を送る会」 5年生はバトンを受け取りました 》



8日には、6年生を送る会を実施しました。

お世話になった6年生への感謝の気持ちを込めて、1・2年生からはお礼の言葉と歌やけんばん演奏、縄跳びの技が披露されました。3・4年生からは、お礼の言葉を書いたペンダントと王冠が贈られました。5年生からは6年生にインタビューをしました。「好きな給食のメニュー」や「中学校で楽しみなこと」などをたずねました。

6年生からは「よっちょれ」のパフォーマンスがありました。



6年生を送る会は、5年生が自分たちの力で準備・運営を行うことで、4月から最上級生としてリーダーシップを発揮していく心構えをつくるねらいもあります。6年生から5年生に「引継ぎ書」も手渡されました。この会をやり遂げたことを自信とし、宿南小学校の伝統を受け継いで、よきリーダーとなって活躍してくれるものと期待をしています。在校生からの「ありがとう」の気持ちを6年生に伝えられた、素敵な6年生を送る会でした。

## 《 6年生 卒業制作 》



1日は、西野桃笠先生に3度目の来校をお願いし、卒業制作を行いました。自分の決めた一文字をまずは半紙に練習し、次に色紙に書きました。西野先生が大切にされていることの一つに、「気づき」があります。自分の書いた字を見て、次に気をつけるところを見つけたり、友だちの字のよいところや気をつければさらに良くなることを言い合ったりします。最後に糊をで文字を書き、砂をかけて仕上げました。完成は卒業式で披露いたします。

## 《 今年最後の 母ちゃんのお話広場 》



12日は、今年度最後の「母ちゃんのお話広場」でした。紙芝居『どくのはいったかめ』、大型絵本『地震がおきたら』を読んでいただきました。

1年間、子どもたちにどんな本を読もうかと考えて選んでくださいました。読み聞かせの様子を見に行くと、いつも子どもたちが前のめりになって本の世界に入り込んでいるのを目にしました。小学校にお子さんがおられない方もボランティアとして継続して来てくださり、本当にありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。

## 《 資源回収 お世話になりました 》

3日、2回目の資源回収を行いました。

今年度は、5・6年の子どもたちが参加して親子で行いました。PTA会員の皆様の手際よく各地区の回収を行ってくださり、無事に終了することができました。地域の皆様におかれましては、資源回収へのご協力、ありがとうございました。

来年度も本校PTA活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



## 《 3.11 東日本大震災追悼集会 》

11日は、東日本大震災追悼集会を行いました。

最初に、亡くなられた方々や、13年経った今でも行方不明の方々に対し、追悼の意を表す黙祷をしました。

今年、岩手県の東日本大震災津波伝

承館と宿南小学校をZoomでつなぎ、伝承館の内部を担当の方に説明しながら案内していただきました。津波のしくみや津波の恐ろしさを学びました。また、自分や他の人の命を救う取組や現在の復興の状況についても教わりました。1月の阪神淡路大震災の追悼集会でも福井先生から話がありましたが、防災リュックについてはぜひ子どもたちも一緒に、家族で確認いただければありがたいです。宿南は、地震や土砂崩れといった災害の危険に対する備えが必要な地域です。自分の命を守るための備えを日頃から行うとともに、これからも災害の記憶を風化させることなく子どもたちに繋げていきたいと思ひます。



## 《 1年間 ありがとうございました 》

### 「志期高遠 功貴切近」

志は大きく高くもち、それを成し遂げるためには、身近なことをこつこつとやっていくことが大切であるという3月の草庵先生の教えです。卒業していく6年生のみなさんには、八鹿青溪中学校でも草庵先生の教えと、自分の座右の銘を心に留めて日々勉学に励んでほしいと願っています。在校生は、6年生の背中を思い出しながら、それぞれの夢や目標に向かって努力を惜しまず頑張してほしいです。そんな子どもたちを保護者・地域・学校が一体となって、来年度も応援していきます。ありがとうございました。